

家族会員の入会のお誘い

日本倶楽部には、会員の配偶者を家族会員とできる制度があります。

ご夫婦で、通常会員と家族会員として同時に入会することも可能です。

家族会員には総会における議決権はありませんが、会館の利用、活動への

参加等すべて通常会員と同様です。(入会金は5万円、会費は月額3千円)

家族会員の声 ～2022年の座談会から抜粋～

<入会のきっかけ>

- 会員増強のために必要だとして夫に勧められて入会しました。「ひっぱりこまれた」という感じです。図書室は蔵書が豊富で、便利なのでよく利用しています。また音楽同好会は楽しんでおり、日本倶楽部からの音楽会へのお誘いも積極的に参加しております。入会してよかったと思っております。
- 家族会員制度ができた時、夫に勧められ入会しました。喜んで入会しました。夫と来ることが多く、会員を紹介してもらっています。音楽同好会はいつも楽しみにしております。
- 日本倶楽部は有名な倶楽部であることは知っていましたが、内容は未知でした。会員減少対策のためとして夫から勧められ入会しました。2020年にスタートした茶の湯同好会に参加してから、会員の方の知り合いが増えて日本倶楽部の人々とのネットワークができ、倶楽部活動が楽しくなりました。顔を見ればどなたかわかる方が増えております。

<倶楽部ライフ>

- 日本倶楽部に入って一番大きな成果は、音楽同好会でピアノ演奏する機会を得たことで、関係の皆様感謝しております。実は18年前から夫の勤務地で、プロのピアニストとしてデビューし、内外での演奏活動をしておりました。ところがコロナ禍で2年間全く演奏会の機会が無くなり困っていたところ、日本倶楽部の音楽同好会のチャンスを得て、ピアニストとしての活動を続けることができました。
- 倶楽部からの景色がよく、ロビーに座っているだけで満足できます。図書室の蔵書が豊富なのも素晴らしいと思います。
- 音楽同好会、3月の会員作品展が文化的行事の中で素晴らしいと思います。今後は音楽関係では合唱の会ができないか考えています。美術関係では講演会で美術史のスライド解説などお願いできればと考えています。音楽同好会のように定期的に開催していただけるとよいと思います。また落語の会も続けて頂きたいと思います。スケッチの会なども面白いと思います。
- コロナが一段落したら、文化活動を精力的に展開して頂きたいと思います。日本倶楽部はこれまで文化的活動が弱かったので積極的な活動をお願いしたいと思います。具体的には、出光鑑賞会、見学会、食事の会の復活、合唱の会、芸能関係講演会、歌舞伎鑑賞会の企画、名建築名庭園で食事をする会、ブリッジの会などの新しい企画。会員の年代などによりニーズは異なると思いますので、それぞれに魅力のある倶楽部づくりを検討したら良いと思います。会員同士誘いあい、仲間づくりができる倶楽部になってほしいですね。
- 会員が奥さんと一緒に行動したいという気持ちが大切です。講演会を一緒に聞いて感想を語り合いながら食事するのは素晴らしいと思います。「仲良い夫婦関係がさらに良くなる」のではないのでしょうか。